

■ 2024年で開講50周年！約11万人が受講した大人気講座 ■

第50回「関西大学飛鳥史学文学講座」を開講

【期 間】4月14日（日）～2025年3月2日（日） 各回13:00～15:00 <全14回>

【場 所】明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村）

関西大学ではこのたび、「2024年度 飛鳥史学文学講座—やまと・あすか・まほろば塾—」（全14回）を、4月14日（日）から2025年3月2日（日）にかけて、明日香村中央公民館にて開講します。

**本件の
ポイント**

- ・開講50周年を迎え、記念の短編映画を制作し、開講式で上映
- ・高松塚古墳の壁画発見を契機に、研究成果を社会還元、延べ受講者数約11万人と根強い人気
- ・明日香村とは古墳・遺跡発掘調査や古墳関連史跡の世界文化遺産登録に向けた活動等で連携

極彩色壁画で有名な高松塚古墳の発見をきっかけとして1975年に開講し、今年で50年目（通算回数500回超）を迎える本講座。継続して受講するリピーターも多く、シニア層を中心に根強い人気を誇ります。一方、熱心な若い世代や近畿圏外からの受講者もおられ、これまで延べ約11万人が受講しました。1972年の故網干善教助教（当時。後に名誉教授）ら本学の考古学陣による世紀の大発見から、50年以上経った今でも、その人気はとどまる所を知りません。

講師には、本学の文学・歴史・文化遺産学の専門家である教授陣に加え、学外から作家の玉岡かおる氏や元宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査官で本学客員教授の徳田誠志氏、世界文化遺産登録を目指す明日香村村長で本学客員教授の森川裕一氏、明日香村教育委員会文化財課で本学非常勤講師の西光慎治氏、天王寺楽所雅亮会理事長で本学非常勤講師の小野真龍氏らを招きます。

初回の4月14日（日）の開講式では、開講50周年を記念して制作された短編映画「飛鳥とともに～BEYOND 50YEARS」を上映。「蘇我氏四代の野望と挫折 一墳墓に反映された飛鳥時代前期の権力抗争—」と題して、本学飛鳥文化研究所・植田記念館名誉館長で本学名誉教授の米田文孝氏が講演します。

本学では今後も、県や村が取り組む古墳関連史跡の世界文化遺産登録を目指した事業など、一層の連携強化に取り組んでいきます。

<2024年度 第50回 飛鳥史学文学講座—やまと・あすか・まほろば塾— 概要>

【開講期間】4月14日（日）～2025年3月2日（日） 13:00～15:00 <全14回>

※特別講のみ10:00～12:00、詳細スケジュールは次ページご参照

【場 所】明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村川原91-1）

【定 員】200名 【受講対象者】飛鳥時代をはじめとする歴史や文化に興味関心をお持ちの全ての方

【受 講 料】年間受講料5,000円（税込）、1講座のみ受講は1,000円（税込）

※明日香村在住者ならびに、本学学生、本講座に興味のある中高生は無料

【受講申込にかかる問合せ先】関西大学教育後援会 飛鳥史学文学講座係 TEL:06-6368-0055

【主 催】関西大学飛鳥文化研究所、明日香村教育委員会

【過去3年間の実績】2023年度:1,826名、2022年度:2,008名、2021年度:1,531名（延べ受講者数）

▼イベント詳細 <https://www.kansai-u.ac.jp/pa/event/asuka.html>

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当:伊地知、小林、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ <2024 年度 飛鳥史学文学講座> スケジュール・講師・テーマほか

【趣 旨】

1972 年、故網干善教助教授（当時。後に名誉教授）率いる関西大学の考古学陣が、日本初となる高松塚古墳の壁画を発見した。本講座はこの未曾有の大発見を契機に、本学の研究成果を広く社会に還元することを目的として企画されたもので、本学飛鳥文化研究所と奈良県明日香村の共催により実施している。これまで延べ約 11 万人が受講し、2024 年度で開講 50 年目を迎える。

本学では県や村が取り組む古墳関連史跡の世界文化遺産登録を目指した事業への参加など、一層の連携強化に取り組んでいる。

【スケジュール】 ※開催時間は 13：00～15：00、特別講のみ 10：00～12：00

講	日 程	講 師（敬称略）・テーマ
1	4 月 14 日	関西大学飛鳥文化研究所・植田記念館名誉館長・関西大学文学部名誉教授 米田 文孝 「蘇我氏四代の野望と挫折 一墳墓に反映された飛鳥時代前期の権力抗争一」
2	5 月 12 日	関西大学文学部教授 乾 善彦 「古代人と文学一漢字への憧憬と畏怖一」
特別	6 月 9 日	明日香村教育委員会文化財課課長補佐・関西大学文学部非常勤講師 西光 慎治 「飛鳥の仏たち川原寺と川原寺裏山遺跡 一川原寺裏山遺跡発掘 50 周年一」
3		作家・関西大学客員教授 玉岡 かおる 「皇王のしるし・神剣の系譜」
4	7 月 14 日	関西大学非常勤講師 今尾 文昭 「『祖』の伝承・成立と古墳 一ウジ系譜に考古学で挑む一」
5	8 月 4 日	関西大学文学部教授 井上 主税 「渡来人とかかわる考古資料から蘇我氏を考える」
6	9 月 8 日	関西大学副学長・文学部教授 藤田 高夫 「『木』から『紙』へ 一古代漢字文化の諸相（四）一」
7	10 月 13 日	関西大学文学部教授 長谷 洋一 「『国華余芳』の世界 一お雇い外国人が見た正倉院宝物一」
8	11 月 10 日	関西大学文学部教授 西本 昌弘 「難波地域の古代史 一高津宮・堀江・難波津・大郡一」
9	12 月 8 日	関西大学客員教授 徳田 誠志 「『近つ飛鳥』と『遠つ飛鳥』の陵墓 一『古墳』の終焉と『日本』の始まり・第 2 章一」
10	2025 年 1 月 19 日	関西大学文学部教授 村田 右富実 「歌から見る持統朝 一石見相聞歌一」
特別	2 月 9 日	天王寺楽所雅亮会理事長・一般社団法人雅楽協会代表理事・関西大学前客員教授・ 関西大学非常勤講師 小野 真龍 「明治期の天王寺楽所の変動 一雅亮会への天王寺舞楽の継承一」
11		明日香村村長・関西大学客員教授 森川 裕一 「『飛鳥・藤原』の世界遺産登録 一石の都、水の都“飛鳥京”現る一」
12	3 月 2 日	関西大学文学部教授 黒田 一充 「御田植祭りの人形」

以 上